

令和 6 年度
交通安全事業の活動実績

酒田市交通安全対策会議

令和6年度活動実績【道路交通安全についての対策】

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第1の柱】 交通安全思想 の普及徹底	(1)段階的かつ 体系的な交通安 全教育の推進	幼児に対する 交通安全教育 の推進	まちづくり 推進課 酒田警察署	- 交通安全教室の実施 交通安全専門指導員派遣 幼児参加延べ人数 4,318人 酒田警察署 園児参加延べ人数 100人 - 幼児、保護者向け交通安全だより発行（年5回 かもしかクラブ・ 幼児交通安全教室対象園 32園）
		小学生に対す る交通安全教 育の推進	まちづくり 推進課 酒田警察署	交通安全教室の実施 交通安全専門指導員講師派遣（小学生参加延べ人数 1,527人） 交通指導員講師派遣（小学生参加延べ人数 461人） 酒田警察署（小学生参加延べ人数 723人）
			まちづくり 推進課 酒田警察署	- 登校時の安全立哨指導 交通指導員 33人配置 - 県下一斉見守りセーフティロード作戦の実施
		中学生・高校 生に対する交 通安全教育の 推進	まちづくり 推進課 酒田警察署	交通安全教室の実施 交通安全専門指導員派遣（中学生参加延べ人数44人） 酒田警察署（中学生参加延べ人数 645人） 酒田警察署（高校生参加延べ人数 4,370人）
			飽海地区高 等学校交通 安全指導協 議会	- 交通街頭指導 - 交通安全講話やLHRを活用した交通安全教育 - 自転車安全点検と自転車保険加入の推進 自転車通学者の自転車損害賠償責任保険加入率はTSマーク付帯の保険 を含め100% - バイク「三ない運動」の定着 - 自動車教習所への無許可入学と無許可免許取得の防止 - 交通安全体験学習会 - 薄暮時特別街頭指導（各校10月下旬～11月中旬にかけて2回実施）
			酒田警察署	自転車警告カード（イエローカード）による指導、講習会への参加要請 交付人数 440人（前年比98人増）
		高齢者に対す る交通安全教 育の推進	まちづくり 推進課 酒田警察署	- 高齢者交通安全教室の実施（参加延べ人数 284人） - かもしかクラブ祖父母参観（参加延べ人数 65人） - 酒田警察署 高齢者交通安全教室（参加延べ人数 202人）
			まちづくり 推進課	ハートフルメール事業の実施（県交通安全母の会連合会事業） 市内小学校4校の4年生136名が参加。高齢者に事故防止を呼びかけ る絵はがきを作成し、祖父母や地域の高齢者に送った。
			酒田警察署	参加・体験・実践型交通安全教育の実施 - 高齢歩行者教育システム歩行環境シミュレータ「わた郎君」を用いた 歩行者教育の実施（2回、参加人数90人） - 交通安全ゆとり号による運転者教育の実施（1回、参加人数50人） - 動画KYT（危険予測トレーニング）の実施（1回、参加人数14人） - 交通安全危険予測シミュレータの実施（1回、参加人数40人）
		障がい者に対 する交通安全 教育の推進	まちづくり 推進課	交通安全教室の実施（参加延べ人数 3団体、参加者196人）
		外国人に対す る交通安全教 育の推進	まちづくり 推進課 酒田警察署	- 交通安全教室の実施 交通安全専門指導員派遣（参加延べ人数 4団体、参加者60人） - 酒田警察署 交通安全教室の実施（参加延べ人数 2団体、参加人数 120人）

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第1の柱】 交通安全思想 の普及徹底	(2) 効果的な交通安全教育の推進	交通安全教育を推進するための指導者の育成	まちづくり推進課	・4/8かもしかクラブリーダー総会および研修会 ・7/5庄内地方かもしかクラブリーダー研修会 ・7/29交通指導員研修会 豪雨災害により実施せず ・各種交通安全専門指導員研修 12/9～11交通安全指導者養成講座（1名受講） - R7.2/18交通安全教育指導者研修会（Zoom参加） - R6.12/24庄内地域交通安全専門指導員研修会（庄内総合支庁） - R7.3/14チャイルドシート指導員養成研修会（Zoom参加） - R6.11/14県市町村交通安全専門指導員研修会（村山総合支庁）
		交通安全教育の推進	まちづくり推進課	交通安全教育用機材等の貸し出し〇件
	(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進	関係機関・団体等と連携した交通安全活動の推進	各関係機関・団体と連携	・酒田警察署、各交通関係機関・団体との連携強化を図り、交通安全活動を推進した。 ・啓発活動時等に「スマートドライバー宣言もったの～五則」、「スマート歩行者プロジェクト」の周知徹底に努めた。 ・関係機関・団体と協力し、歩行者に日本一やさしい山形県の実現を目指し、歩行者保護意識の浸透をため、周知徹底に努めた。
		交通安全運動の推進	まちづくり推進課、各関係機関・団体と連携	・日中広報街宣 年間168回、早朝広報街宣 年間32回 ・県民運動期間及び交通安全の日に街頭指導を計画的に実施した。 ・交通安全ふれあい活動～明るいやまがた夏の安全県民運動～ 帰省者（車）に対する啓発活動の実施 8/6酒田IC（県警高速警察隊、庄内総合支庁、酒田市ほか）大雨災害により実施せず ・市民大会の実施 ・各季交通安全県民運動出発式 「安全と安心のまち酒田」7/31 大雨災害により実施せず - 春の交通安全県民運動出発式 酒田警察署（会議室） - 夏の安全県民運動出発式 平田タウンセンター（シアターOZ） - 秋の交通安全県民運動出発式 酒田警察署（会議室）
		普及啓発活動の効果的な展開	まちづくり推進課	・ブラカード街頭指導（各関係機関と合同） 交通安全の日（4～12月 1日・15日実施 回）、公所長等早朝一斉街頭指導（春と秋の交通安全運動期間中に実施 4/12、秋は大雨災害により中止）、死亡事故ゼロの日（4/10、9/30の2回）等計22回 ・交通安全啓発活動（各関係機関と合同・市単独合計）20回、配布対象者2,323人
				・広報媒体の積極的活用 市広報、市ホームページ、防災無線（支所地域）、FMラジオを積極的に活用し、県民運動の周知や交通安全計画等の情報発信を行った。
		横断歩行者の安全確保	各関係機関・団体と連携	・関係機関・団体と協力し、歩行者に日本一やさしい山形県を目指し、「交通安全ありがとう運動」を展開し、歩行者保護意識の浸透を図った。
		シートベルト全席着用及びチャイルドシートの正しい着用の徹底	まちづくり推進課	・チャイルドシート及びシートベルト啓発リーフレットの配布 母子健康手帳交付申請者及び転入者 395人
			酒田地区交通安全協会	・チャイルドシート、ベビーシートレンタル事業 年間貸出台数84台 年間貸出回数84回

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第1の柱】 交通安全思想の普及徹底	(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進	薄暮時におけるヘッドライトの早め点灯・ハイビームの積極活用	各関係機関・団体と連携	- 市広報や、FMラジオを活用し広報啓発を行った。 - 関係機関・団体と一緒にプラカードによる街頭啓発活動を行った。
		高速道路における効果的な啓発の充実	東日本高速道路㈱ 各関係機関・団体と連携	各関係機関と合同で、帰省客等高速道路利用ドライバーに対する交通安全啓発活動の実施
	(4) 地域で守る交通弱者の交通安全対策の推進	地域で守る交通弱者の交通安全対策の推進	まちづくり推進課 酒田地区交通安全協会	- 交通指導員33人を配置し、朝の登校時に児童、生徒をはじめとする市民の通行の安全指導を行った。 - 高齢者等の家庭を訪問し、交通事故防止や各種犯罪被害防止を呼びかけ、夜光反射材を配布してその活用を指導することで、交通安全意識の啓発を図った。 【年間家庭訪問数】 酒田地区交通安全協会 21,239世帯
	(5) 飲酒運転の撲滅	飲酒運転の撲滅	各関係機関・団体と連携	関係機関・団体等と協力し、交通安全教室、事業所訪問、街頭啓発活動などあらゆる機会を通じて啓発活動を実施。
	(6) 自転車の安全利用の推進	自転車の安全利用の推進	まちづくり推進課	- TSマーク等、各種自転車損害賠償責任保険への加入促進 - ヘルメット着用推進 - 市内の中学1年生（校部）を対象に自転車安全利用リーフレットを配付した。 - 自転車損害賠償責任保険等への加入義務化の周知を図った。（5/23 酒田駅前 啓発物品・チラシ等）
		薄暮時の早め点灯等の推進	まちづくり推進課	- 自転車の早め点灯の周知徹底 - 市内中学校1年生を対象に自転車用反射材を配布（配付数750個）
【第2の柱】 安全運転の確保	安全運転の確保	高齢運転者標識（高齢者マーク）の周知	まちづくり推進課	交通安全教室で行う講話や寸劇でテーマとして取り入れるなどして周知を図った。
		効果的な交通安全教室の実施	まちづくり推進課	市内の交通事故発生状況や事故事例の解説と、寸劇や軽体操などを組み合わせ、わかりやすい交通安全教育を実施に努めた。
		運転免許自主返納制度の周知	まちづくり推進課	自主返納手続きや酒田市の自主返納支援制度について、市広報やFMラジオ、交通安全教室等で周知に努めた。
【第3の柱】 道路交通環境の整備	(1) 幹線道路における交通安全対策の推進	幹線道路における交通安全対策の推進	土木課	市道：実績なし
	(2) 生活道路等における「人優先」の安全・安心な歩行空間の整備	安全な歩行空間、ひとにやさしい標識等の整備	土木課	道路標示や道路標識等の整備補修の推進

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第3の柱】 道路交通環境の整備	(2)生活道路等における「人優先」の安全・安心な歩行空間の整備	通学路等における整備	学校教育課 他関係機関	・通学路危険箇所点検 各小中学校から提出された意見・要望について、各関係機関で意見を 交わし、合同で現地調査を実施し交通安全の推進を図った。 合同点検事前対策検討 7/8 19校65か所 危険箇所合同点検 9/18、9/19、11/21 3校4ヶ所（松原小、 若浜小、亀ヶ崎小）
		未就学児が日常的に集団で移動する経路の安全確認	保育こども園課	※R6年度実績なし（現時点でR7年度以降実施予定なし）
	(3)歩行者・自転車対策及び生活道路対策の推進	歩行者・自転車対策及び生活道路対策の推進	土木課	・道路パトロールにより交通安全上危険箇所は速やかに補修整備を実施。 ・冬期間の円滑な道路交通の確保 除雪指定路線延長831.4km（市が管理する道路の85.1%）
	(4)地域住民等と一体となった道路交通環境の整備	地域住民等と一体となった道路交通環境の整備	土木課	市道：実績なし
	(5)高速道路における事故防止対策の推進	高速道路における事故防止対策の推進	東日本高速道路㈱ 各関係機関・団体と連携	・交通安全施設の維持を図るとともに、各種点検等の作業を実施し異常事態の発生の未然防止に努めた。 8/6「夏の交通安全キャンペーン」酒田IC 令和6年7月25日からの大雨による災害のため、実施せず。
	(6)円滑・快適で安全な道路交通環境の整備	道路の使用及び占用の適正化等	土木課	・道路占用許可の適正な運用と占用物件等の維持管理の適正化を指導。 ・道路交通の妨害となる不法占用物件等については是正指導を実施した。
		自転車等駐車対策の推進	まちづくり推進課	・駅周辺自転車駐輪場における放置自転車の撤去 撤去実績なし
	(7)公共交通体系の整備・利用促進	公共交通体系の整備・利用促進	都市デザイン課	るんるんバスやデマンドタクシーの利用促進を図るため、体験試乗会や説明会などの周知活動を実施した。（4団体）
	(8)総合的な駐車対策の推進	総合的な駐車対策の推進	まちづくり推進課	・交通安全関係団体等の協力を得て、違法駐車排除の広報啓発活動に努めた。
	(9)災害に備えた道路交通環境の整備	災害に備えた道路の整備	土木課	市道：実績なし
		災害に強い交通安全施設等の整備	土木課	交通安全施設の整備及び交通規制を実施するための交通規制資機材の確保
	(10)交通安全に寄与する道路交通環境の整備	道路法に基づく通行の禁止または制限	土木課	災害が発生した場合でも安全な道路交通の確保を図った。

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
【第4の柱】 救助・救急活動の充実	(1)救助・救急業務体制の整備	救助体制の整備・拡充	酒田地区広域行政組合	人命救助のために必要な救助装備の充実を図り、併せて、救助隊員を含めた消防隊員の救助技術のレベルアップを図った。
		多数傷病者発生時における救助・救急体制の充実	酒田地区広域行政組合	消防機関における広域応援体制の充実を図り、関係機関及びDMAT（災害医療チーム）との救護訓練の実施により、多数傷病者発生時における救急事故体制の連携強化に努めた。
		心肺蘇生法等応急手当の普及啓発活動の推進	酒田地区広域行政組合健康課	・市民を対象としたAED（自動体外式除細動器）の操作方法を含めた心肺蘇生法に関する講習会を開催し、応急手当の普及啓発を行った。 ・命の大切さや心肺蘇生法の重要性を幼少期から根付かせ、将来的な救命率の向上を図ることを目的に、小学校高学年を対象とした「ジュニア救命講習」を実施した。 ・公共施設等へのAED設置の推進を図った。 R6年度AED設置状況 酒田市内256か所、307台 ・「女性に配慮したAEDの使用について」のリーフレットを作成し、AEDを設置している公共施設に対し使用方法の普及啓発を行った。
		心肺蘇生法等応急手当の普及啓発活動の推進	酒田地区広域行政組合	・市民を対象としたAED（自動体外式除細動器）操作法を含めた心肺蘇生に関する講習会を開催し、応急手当の普及啓発を行った。 ・命の大切さや心肺蘇生法の重要性を幼少期から根付かせ、将来的な救命率の向上を図ることを目的に、小学校高学年を対象とした「ジュニア救命講習」を実施した。 ・公共施設等へのAED設置の推進を図った。 ・「女性に配慮したAEDの使用について」のリーフレットを作成し、AEDを設置している公共施設に対し使用方法の普及啓発を行った。
		救急救命士の養成・配置等の促進	酒田地区広域行政組合	・救急救命士を計画的に配置できるよう養成を図るとともに、救急救命士の行う応急処置を円滑に実施するための講習及び実習を積極的に行った。 ・救急救命士が行う応急処置等の質を確保するためメディカルコントロール体制の下に教育・訓練の充実を図った。
		高規格救急自動車の計画的更新	酒田地区広域行政組合	各署に高規格救急自動車を配備し、併せて全車に除細動器等を配置して、傷病者に対する迅速な処置と適切な搬送を行った。
		消防防災ヘリコプター及びドクターヘリによる救急業務の推進	酒田地区広域行政組合	災害の状況に応じて、消防防災ヘリ及びドクターヘリの積極的な活用を行った。
		救助隊員及び救急隊員の教育訓練の充実	酒田地区広域行政組合	消防学校、地区メディカルコントロール関係医療機関の協力により、救助及び救急隊員に対する災害現場での連携訓練と教養を行った。
		高速道路における救急業務実施体制の整備	酒田地区広域行政組合	高速道路で発生した災害に対応する訓練を実施し、救急・救助活動体制の連携強化に努めた。
	(2)救急関係機関の協力関係の確保等	救急関係機関の協力関係の確保等	酒田地区広域行政組合	救急医療施設への迅速かつ円滑な収容を確保するため、関係機関と密接な連携・協力を築くとともに、救急医療機関との連携については、消防本部救急課を中心として積極的な強化を図った。
【第5の柱】 交通事故被害者等支援の推進	(1)交通事故相談活動の推進	交通事故相談活動の推進	まちづくり推進課	交通事故による被害者やその家族に対し、交通事故相談活動の周知を図り、広く相談の機会の提供に努めた。
	(2)交通事故被害者対策の充実	交通事故被害者に対する支援	まちづくり推進課	山形県交通安全母の会連合会の交通遺児奨励金等の情報提供に努めた。 R6年度交付対象者：勉学等奨励金4人、卒業祝金3人、入学祝金0人
【第6の柱】 交通事故調査・分析の充実	(1)交通事故多発箇所の共同現場点検	交通事故多発箇所の共同現場点検	各関係機関・団体と連携	R6年度実績なし
	(2)交通死亡事故等重大事故発生に伴う緊急現場点検	交通死亡事故等重大事故発生に伴う緊急現場点検	酒田警察署ほか関係機関	交通死亡事故現場点検 1か所にて実施 1/9（東大町）

令和6年度活動実績【踏切道における交通の安全についての対策】

柱	項目	施策の展開	担当課	主な事業概要・活動実績
踏切道における交通安全教室のため背景の展開	(1) 踏切道の構造の改良の促進	踏切保安設備の整備の実施	土木 酒田保線技術センター	踏切道保安設備等の整備の推進を図る。
	(2) 踏切保安施設の整備の実施			冬季間における踏切道付近の除雪については、道路管理者と関係機関の連携を密にして通行の安全確保を図る。
	(3) その他踏切道の交通の安全及び円滑化を図るための措置	踏切道の交通の安全及び円滑化を図るための措置	酒田保線技術センター	4月 多客輸送繁忙期前の藤塚/中野（第4種）踏切点検を実施。 5/22 春の交通安全運動として、観音寺街道踏切（酒田駅構内）で「踏切事故防止キャンペーン」を実施 7月 多客輸送繁忙期前の藤塚/中野（第4種）踏切点検を実施。 10/11 秋の交通安全運動として、茅原踏切（鶴岡駅構内）で「踏切事故防止キャンペーン」を実施 12月 多客輸送繁忙期前の藤塚/中野（第4種）踏切点検を実施。 12月～2月 降積雪時、各踏切の早朝除雪を行い、通勤者の安全確保。 ＜踏切事故防止キャンペーン実施内容＞ JRと警察が連携し、「踏切手前での一旦停止」「警報器が鳴ったら渡らない」等の呼びかけおよびリーフレット等の配布による啓発活動を実施。